

やすらぎ通信

第41号（平成26年4月1日） 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

卯月(うづき)

春が来た

作詞 高野辰之 作曲 岡野貞一

春が来た 春が来た どこに来た
山に来た 里に来た 野にも来た

花がさく 花がさく どこにさく
山にさく 里にさく 野にもさく

鳥がなく 鳥がなく どこでなく
山でなく 里でなく 野でもなく

いよいよ春も盛り、気温もぐっと上がりあちらこちらの花見情報が紙面や画面をにぎやかに飾りだしてきました。4月は卯月と呼ばれます。語源は、卯の花（ウツギの花）が咲くころの意のようです。また、十二支の4番目である“う（卯）”から来たとも言われています。ウツギは山野に生える落葉低木で、枝一面に円錐状につく小さな白い花は美しく清らかな感じがします。ただ、花の時期は実は5~6月ごろで旧暦の関係で月の名前とずれが生じているようです。ちなみに毎回紹介しています「季節のことば36選」では卯の花は5月の言葉に選ばれています。

4月の36選は、「入学式、花吹雪、春眠」。この場合の花吹雪といえば当然のごとく桜です。満開の桜の下を入学式に向かう親子連れの姿、まさに定番とっていいほどの日本の4月初旬の風物詩です。

しかし、日本では入学は4月があたり前となっていますが世界の中ではむしろ珍しい存在で、夏休み明けというところが多いようです。日本でも明治になって西洋の教育が導入された頃は9月入学でしたが、明治20年頃に政府の会計年度の始まりや軍隊への入隊が4月になったことから小学校などで4月入学が奨励されるようになったそうです。これに対し帝国大学や旧制高校は結構遅くまで9月入学を維持しており、帝国大学では大正10年にようやく4月入学になりました。やはり高等教育は世界標準に揃えておくべきという意識があったのかもしれませんが。そのためか戦後、何度か大学の入学時期を秋にすべきという議論がなされて来ました。特に最近では社会のグローバル化が進み日本の大学が世界と伍していくためには4月入学がひとつのハンディになっていると言われているからのようです。

ただどうも、秋入学の話は大学に関してのみ話題となっているようで、小学校などではまだまだ定着した4月入学を変えようという動きはないようです。やはり新しい生命の息吹を感じ、物事がいろいろ動きそうなこの時期こそ入学式を行うことが日本人の感覚にぴったりと来るのでしょう。一つの要因としては脈々と続く農耕民族としての感性が、作物を育て、育み、収穫するという一連の流れと人を育てることとを共振させているのかもしれませんが。

もっとも人が育つ、育てることは1年で終わるものではありません。一人の人にとって入学式が翌年には始業式に代わり、またいつか一つ上の段階の入学式になる。同じ4月を繰り返すようでも一段ずつらせん階段を登っていくように、人は新たな視界を手に入れていきます。それは学校を卒業した後でも一生続くことと言えるのではないのでしょうか。その点では、この季節のことば、「入学式」は単に子供たちを対象にしたものだけとは言えないように思えます。人生の入学式はまだまだこれからも続く、そこで花吹雪を浴びるのは自分である、そう思うだけで何か新しいことを始めてみたい気分にはなりません。春は行動開始の季節です。行く春を惜しんでいる暇はないかもしれませんね。

【(新)「急性期・総合医療センターの最新治療がわかる本」が出版されます！】

このたび府民の皆さま向けに、当センターで行われている最新治療をご紹介する書籍を出版することとなりました。当センターの医師や看護師らが、分かりやすく、簡潔に、しかも必要な情報はきちんと把握できるように執筆しています。

この本は、いわゆる医学書や診療ガイドブックではなく、健康なときから病気にかかったときまで、府民がよりよい治療を選択する際に役立つ健康情報を掲載しています。病気を理解し、よりよい治療を選択するための案内書としてご活用いただければ幸いです。

発売日：平成26年4月7日（月）

価格：1,998円（消費税8%込）

◇当センター内のローソンや近隣の一般書店等で販売します。

◇当センター内のローソンでは、下記の方を対象に割引販売を実施します。

- ・当センターの診察券をレジで提示いただいた方
- ・当センターで開催されるイベント参加者にお配りする書籍の案内リーフ（割引券付き）をレジで提示いただいた方

割引価格：1,700円（消費税8%込）

【(新) ～地域の医療機関の皆様へ～ 人工関節センターからのお知らせ】

2007年に人工関節センターを開設して今年で7年目を迎えます。近年の人工関節の性能向上、技術向上には目覚ましいものがあります。摺動面の耐摩耗性向上、可動域の改善、手術ナビゲーションによる正確で再現性の高い手術などにより、除痛の最終手段として考えられていた人工股関節・膝関節手術は、快適な日常生活を送るためのより一般的な手術へと変わりつつあります。

ナビゲーション手術

当科では人工股関節手術においてナビゲーションを2009年6月から使用開始しております。その安全性と治療効果が認められ、2012年4月から保険適応となりました。術前CTデータに基づいた3次元での正確な計画を、1度1mm単位で手術に再現することが可能になっており、安心して長く使える人工股関節になります。

両側同日手術

従来は主に両側膝関節罹患で希望のある患者さんに限定して行っておりましたが、現

在は、適応と判断した場合は股関節症例を含め、こちらからお勧めしています。股関節症例も貯血のみで安全に行えており、入院期間は片側手術症例と大差なく、総合的な機能回復時間の短縮・入院費用低減など患者さんのメリットが大きい方法です。

当センターでは、人工関節を一生安心して使って頂けるよう、手術後安定した状態になってからも年1回程度の定期検診を継続させて頂いており、異常が認められた場合に早期に対応できるようにしております。日常の診療はかかりつけ医の先生方をお願いしておりますので、御理解と御協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

人工関節センター関節外科部長 原口圭司

【(新) 医療情報コーナーをリニューアルしました】

当センターでは、従来から来院された患者さん等に病気に関する知識や連携する地域の医療機関の情報を提供する医療情報コーナーを本館1階の正面玄関入って左横とやすらぎセンター入口に分かれて設置しておりましたが、このたびさらなる情報提供の充実と利便性の向上を図るため、やすらぎセンター内に新たなスペースを確保し患者情報を集約しました。新コーナーでは書籍・パンフレット等の医療情報の提供に加え、大型ディスプレイによる電子掲示板を導入し見やすくタイムリーな当センターの情報を提供することも出来るようになりました。近くには椅子やテーブルも配置しておりますのでゆっくりと情報収集することも可能です。どうぞ皆様方の積極的な活用をお願い申し上げます。

【～地域の医療機関の皆様へ～

前立腺癌の手術 ー開腹手術から腹腔鏡手術、そしてロボット手術へー】

泌尿器科領域における手術の多くは腹腔鏡手術が主流となってきており、前立腺癌の手術にも多くの施設で腹腔鏡手術が行われるようになってきています。当科でも2009年より腹腔鏡下前立腺全摘術を開始しておりましたが、腹腔鏡手術のさらに進んだ形の内視鏡手術支援ロボット「da VinciS」(ダ・ヴィンチ)を使ったロボット手術を2012年6月から開始しました。

ダ・ヴィンチは術者が患者さんとは離れた位置で操作しながら手術を行う機械です。当院では2014年1月末までに約120例の前立腺癌に対するロボット手術を行っています。このダ・ヴィンチによる手術の特徴は術者が拡大された3次元の画像を見ながら手術操作を行うところにあります。手術操作鉗子の先は手首や指の関節のようになめらかに動き、人間の手以上の可動域を持っており、より細かな手術操作が可能となり、狭い骨盤の底で尿道と膀胱をつなぎ合わせる前立腺癌の手術には最適の医療技術と言われています。前立腺の周囲には血管や勃起に関係する神経や尿道括約筋が存在します。拡大された3次元の画像を見ながら、術者の手の動きは縮尺され、手ぶれも補正されて行われるため正確な手術が施行可能です。特に勃起神経の温存が極めて容易となり、早期から男性機能の改善が認められ、正確な手術により、術後の尿失禁も従来の開腹手術や腹腔鏡手術に比較して早期に回復が見られるようになりました。

また、大きな合併症もなく約 10 日～2 週間ぐらいの入院期間で治療可能です。現在当科では前立腺癌の手術はほぼ全例にロボット手術を行っております。当院では地域との医療連携を図り、最新の医療を提供していきたいと考えております。また、前立腺癌患者と PSA 検診の地域連携パスも開始予定であります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科主任部長 山口誓司

【～地域の医療機関の皆様へ～ 心臓血管センター不整脈科 開設のお知らせ】

不整脈に関する研究はこの 10 年間で飛躍的に進み、カテーテルアブレーションや心臓植え込みデバイスと言った不整脈を取り巻く医療機器も著しく進歩しております。こうした専門的な治療を提供するため、このたび心臓血管センターに新たに不整脈科を開設いたしました。心臓内科や心臓血管外科と密な連携を図りながらこれまで以上によりよい医療を提供させていただきます。

頻拍に対するカテーテル治療（カテーテルアブレーション）

カテーテルアブレーションの進歩により不整脈は根治可能な病気となっています。近年は不整脈の 3D マッピングシステムである CARTO 3 を駆使して頻拍の根治を目指して治療に当たっています。心房細動は日常臨床で最も良く見られる不整脈です。1998 年に心房細動の多くが肺静脈起源であることが分かり、肺静脈隔離術が考案されました。当センターでも積極的に心房細動に対するカテーテルアブレーションを行っております。

心臓植え込みデバイス

これまでペースメーカ植え込み後は MRI 検査を受けることは出来ませんでした。昨年より植え込み後も MRI 検査を受けることが可能なペースメーカが発売され、多くの症例で使用しています。

当センターは心不全患者を多く診療してきた実績が有ります。心不全患者で問題となる突然死を防ぐ植え込み型除細動器（ICD）や心不全に対する心臓再同期療法も行っています。

当科では地域の先生方と連携を密にとりながら患者の治療に当たりたいと思っています。不整脈の発作時はいかなるときも救急での受診が可能です。治療を行い退院後はかかりつけ医の先生方に日常の診療をお願いしつつ、数ヶ月ごとに当科でもフォローさせていただきます。当センターの理念である「急性期医療・高度先進医療」のため、何卒御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

心臓血管センター不整脈科部長 古川善郎

【～地域の医療機関の皆様へ～ C 型慢性肝炎の新しい治療が始まります！】

C 型慢性肝炎は無症状に経過し肝硬変や肝臓に進む病気です。

約 20 年前からインターフェロンを中心とした C 型肝炎ウイルス（HCV）に対する

抗ウイルス治療が行われるようになり、HCV が排除された方では肝臓の発生が抑制されます。当初のインターフェロン単独治療では難治性 C 型慢性肝炎（血清グループ 1 型、高ウイルス量）に対するウイルス学的著効率が 5 % 程度であったものが、ペグインターフェロンとリバビリンの 2 剤併用で 50 % と治療効果が進歩しています。さらに近年の世界的な DAA (Direct-acting Antivirus Agent) としての抗ウイルス剤開発により難治性 C 型慢性肝炎でも 90 % の著効が得られるようになりました。

2011 年 11 月から保険使用可能となったプロテアーゼ阻害剤であるテラプレビルとペグインターフェロン+リバビリンの 3 剤併用に続き、昨秋には第 2 世代プロテアーゼ阻害剤のシメプレビルが承認され 3 剤併用療法として 2013 年 12 月から使用可能です。本治療法は副作用がテラプレビルに比べ少なく、従来のペグインターフェロン+リバビリン 2 剤併用と同程度とされています。開発治験では 90 % の著効率が報告されており C 型慢性肝炎治療として画期的と期待されています。一方で C 型慢性肝炎がありながら検査を受けるチャンスがなく、わからないまま肝臓病が進行してしまう方がおられます。こういった方がないように C 型肝炎の検査を積極的に行い、肝硬変や肝臓にならないよう治療チャンスを作ることが医師の使命と考えます。

新しい治療はインターフェロン地域医療連携で行うこともできます。地域で C 型肝炎を囲い込み一人でも肝臓になる人が少なくなればと考えております。

ご協力ご支援をお願い申し上げます。

消化器内科主任部長 井上敦雄

【エコロジーガーデン事業を実施中です】

当センターでは、10 月から施設内に観葉植物を配置することにより、患者さんやその家族の方々などに緑化によるやすらぎの空間を提供するエコロジーガーデンと名付けた院内緑化事業を行っています。配置する植物は CO² (二酸化炭素) や VOC (揮発性有機化合物) の吸収にすぐれており、土壌は消臭効果の高い活性炭や石灰岩を利用するなど空気浄化能力も備えており、鉢植えにして主に本館 1 階のやすらぎセンターや 2 階の病院ギャラリー付近を中心に正面玄関口や病棟に向かう廊下にも配置しています。なお、この事業はエコロジーガーデン事業の趣旨に賛同するグリーンオフィシャルスポンサーの応援を頂いて実施しています。

当センターでは、今後も来院される皆様方に少しでも心地よい環境を提供するため配置箇所の増加などに努めてまいります。

【「医療相談」コールセンターのご利用を ―地域医療連携室―】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談を、専門の看護師が電話でのご相談に応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号は 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 5 時
相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等
相談員 看護師

【診察予約変更センター 9 診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の 9 診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意くださいますようお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201 (代表) にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後 3 時～午後 5 時(平日のみ)

(対象診療科) 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター（やすらぎセンター）におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

また、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談コーナーなどでお知らせするサービスも行っていきます。

今月の催し

【第 2 回腎臓・高血圧内科教室】

日 時 4 月 22 日 (火) 午後 2 時～3 時

場 所 本館 3 階 保健教室

内 容 腎代替療法とはなにかー血液透析・腹膜透析・腎移植どう違うの？ー
(腎臓・高血圧内科副部長 鈴木 朗)

腎臓を守る塩分のお話 (栄養管理室管理栄養士 隈元理香)

参加費 無料

【(新) 相愛大学第 36 回外来糖尿病教室

知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

日 時 4月23日(水) 午後2時～
場 所 本館1階 アトリウム
内 容 おしっこにブドウ糖を捨てる！ 糖尿病の新しいお薬
(糖尿病代謝内科主任部長 馬屋原 豊)
自律神経機能(RR-CV)って何？
(臨床検査科臨床検査技師 藤田 武)
食生活を見直そう (栄養管理室管理栄養士 笠井香織)
参加費 無料

【第 21 回万代・夢寄席 桂かい枝独演会 ～春の陽気を連れて只今参上！～】

日 時 4月24日(木) 午後2時～
場 所 本館3階 講堂
出 演 落語家 桂 かい枝
入場料 無料

【(新) すこやかセミナー「当センターでの緩和ケアチームの活動」

日 時 4月25日(金) 午前11時～12時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 精神科医師 高田宏宗
参加費 無料

【(新) 第 12 回病院ギャラリー企画展 須田剋太「街道をゆく」挿絵原画展 — 竹内街道、河内みち、堺・紀州街道、奈良散歩 — 】

『街道をゆく』は、司馬遼太郎氏が、1971年から1996年まで、25年以上にわたって週刊朝日に連載し、単行本にもなっている歴史紀行文学です。国内はもちろん、中国やモンゴル、さらには遠く南蛮(スペイン、ポルトガル)やオランダ、アイランドをはじめ世界各地の街道も訪ね、司馬氏の洞察力に富んだ味わい深い文章により、その国や地域の歴史と風土を描いています。須田剋太氏は連載開始から1990年までの約20年間、司馬氏に同行してスケッチを重ね、「街道をゆく」の挿絵を制作しました。

それらの作品は、挿絵として各地の雰囲気や情景を伝え読者を楽しませるだけでなく、独特の画風で色彩豊かに描かれ、絵画作品としても優れたものとなっています。[大阪府立江之子島文化芸術創造センターホームページ内の解説文より抜粋]

今回は須田剋太氏が描いた「街道をゆく」シリーズの中から『竹内街道』(6作品)、『河内みち』(10作品)、『堺・紀州街道』(4作品)、『奈良散歩』(10作品)を紹介さ

せていただきます。

(本企画展は、大阪府江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施します。)

開催期間 4月28日(月)～8月1日(金)まで

展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 竹内街道他 30枚

※ 6月3日(火)13時30分から大阪府府民文化部都市魅力創造局文化課・主任研究員の中塚宏行氏による作品説明会(約20分)を病院ギャラリーで開催いたしますのでご参加ください。

※ なお、「京の美を巡る」岩宮武二写真展“日本の美 京いろとかたち”シリーズは4月25日(金)までとなります。

【(予告)第3回リウマチ教室】

日時 5月20日(火) 午後2時～4時

場所 本館3階 講堂

内容 関節リウマチの治療 2014年

(免疫リウマチ科主任部長 関節リウマチ・バイオサポート
センター長 藤原弘士)

リウマチのお薬について(薬局薬剤師 立川奈保美)

リウマチ患者さんの口腔衛生について

(歯科口腔外科歯科衛生士 柿添 忍)

参加費 無料

【(予告)すこやかセミナー「肺のパンク、自然気胸について」】

日時 5月23日(金) 午前11時～12時

場所 本館3階 保健教室

講師 呼吸器外科部長 大森謙一

参加費 無料

【(予告)第6回肝臓病教室】

日時 5月24日(土) 午前10時～12時

場所 本館3階 講堂

内容 「C型肝炎の最新治療について」

C型肝炎の最新治療について(消化器内科主任部長 井上敦雄)

C型肝炎の検査の見方(消化器内科副部長 春名能通)

病態に合わせた食事の献立(栄養管理室管理栄養士 織田 都)

参加費 無料

【(予告) 相愛大学連携 第 37 回外来糖尿病教室

知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

日 時	5月27日(火) 午後2時～
場 所	本館1階 アトリウム
内 容	久しぶりにインスリンの話 (糖尿病代謝内科副部長 畑崎聖弘) 糖尿病の運動療法 (リハビリテーション科理学療法士 松井未衣菜) 噛むことの効果 (相愛大学 未定)
参加費	無料

【(予告) 第 32 回相愛大学連携コンサート】

日 時	5月28日(水) 午後2時～
場 所	本館3階 講堂
出 演	ピアノ独奏 演奏者未定
入場料	無料

Topics

【 管理栄養士のコーナー 】 ～ちょっとおいしい話～



4月は新年度のはじまり、今までの慣れ親しんだところから新しい生活に変わる方も多いと思います。こんな時もしっかり食べて、いきいきと過ごしたいものです。

そこで、今月はビタミン B1 が豊富な豚肉のみそ炒めと春野菜を使ったメニューを紹介いたします。

《材料》	(1人分)	(2人分)	
豚肉 (スライス)	約 80 g	約 160 g	
春キャベツ	80 g	160 g	
油	小さじ 1/2 杯	小さじ 1 杯	
A {	砂糖	小さじ 1 杯	小さじ 2 杯
	みそ	大さじ 1 杯	大さじ 2 杯
	酒	大さじ 1 杯	大さじ 2 杯
アスパラガス	2 本	4 本	
人参	30 g	60 g	
ノンオイル	大さじ 1/2 杯	大さじ 1 杯	

ドレッシング

(1人前) エネルギー：358kcal たんぱく質：18.2g 脂質 21.8g 食塩相当量：3.1g

- ① アスパラガスの根元は約 2cm 切り落とす。穂先は少し長めになるように 1 本を 3 つに切る。根元の皮は固いので、皮をむく。
人参はアスパラガスと同じくらいの太さ、長さにはステックに切る。
人参を先にゆでて、人参に八分どおり火が通ったらアスパラガスを入れる。
アスパラガスの食感を残すために 1 分ほどゆでたらざるにあげる。
- ② 上記 A の調味料を合わせておく。
- ③ 豚肉、春キャベツは食べやすい大きさに切る。
温めたフライパンに油を入れ、豚肉を炒める。豚肉に火が通ったら春キャベツを入れ、キャベツがしんなりしたら合わせておいた調味料を入れ、味がなじんだら火を止める。
- ④ 皿にゆであがったアスパラガス、人参を添え、豚肉のみそ炒めを盛りつける。

塩分が気になる方は付け合わせにかけるドレッシングはかけないで野菜の甘みを味わってください。

栄養管理室管理栄養士 伊藤 晶

今月のひまわりさん

各種窓口でセンターご利用のお手伝いをさせていただいている医事事務委託会社ソラストの窓口担当を紹介させていただくコーナーです。

【(新) 初診受付担当 水谷さんの巻】

私は、初診受付で仕事をさせて頂いています。患者様の中には保険証や医療証を非常に使いやすく工夫しておられる方がいらっしゃいます。あらゆるカード類をきれいに本のようにファイリングし、必要なページをさっと開いて渡してくださる方、またきれいにビニールコーティングして、新品のように保険証を大事に扱っておられる方、保険確認の際にも大変見やすくありがたく思います。

先日、「こんな治療を受けたい」と病院を探しておられる患者様が来院されました。確認したところ、当院のリハビリテーション科で行っている治療であることが分かり、早速ご相談に行って頂きました。その患者様は帰り際、わざわざ初診受付に寄って下さり、「予約できたわ。ありがとう。」とお礼を言って下さいました。日常の私たちの当たり前への対応に、感謝の言葉をかけてくださった優しいお心遣いを本当にうれしく思いました。

私たちも、相手の立場に立って物事を考えていけるよう、これからも心がけていきたいと思っています。

その他のお知らせ

【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関はJ-Debitに加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。)

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込み」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。